

小児科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	多臓器不全を伴う急性ショック脳症・出血性ショック脳症症候群/激症脳浮腫型脳症の臨床像を明らかにすることを目的とした研究
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	（所属）小児科学講座 （職名）講師 （氏名）倉橋宏和
研究の対象となる方	2020年1月から2024年12月までに、多臓器不全を伴う急性ショック脳症(ASEM)・出血性ショック脳症症候群(HSES)/激症脳浮腫型脳症(AFCE)と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2030年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>重症の経過となった急性脳症の患者さん(以下重症急性脳症の患者さんと記載します)の人数は多くないので各施設で診療する患者さんの人数も限られています。そのためまとまった報告がなされていません。特に多臓器不全を伴う急性ショック脳症(ASEM)・出血性ショック脳症症候群(HSES)/激症脳浮腫型脳症(AFCE)と呼ばれる急性脳症は急激に症状が悪化するため大変予後が悪い脳症として知られています。そこで今回成育医療研究センターを中心とした多施設共同研究により ASEM・HSES/AFCE と診断された急性脳症の患者さんに着目し、カルテに記載されている臨床情報を後方視的に検討して、臨床像を明確にしたいと考えています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>患者さんのカルテを調べて必要な情報を抽出して解析します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、電子的配信により共同研究機関へ提供します。</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録から、年齢・性別・病歴、検査データ、行われた治療等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究	国立成育医療研究センター 神経内科 阿部裕一

責任者	
試料・情報を利用する学外の者	国立成育医療研究センター 神経内科 阿部裕一 を代表とする 22 の共同研究施設の小児科・神経科・神経内科医師
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2030 年 3 月 31 日までに電話・窓口での受付等により下記問い合わせ先まで申し出て下さい。
外国への試料・情報の提供	〔外国の名称〕 非該当 〔個人情報の保護に関する制度の情報〕 非該当 〔個人情報保護のための措置に関する情報〕 非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 小児科学講座 担当者：（職名）講師 （氏名）倉橋宏和 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 22150）